

# 学校支援地域本部事業実践現場訪問

## 東和中キャリアセミナー ～学校支援地域本部とハーベスト(NPO団体)が協力～ 登米市立東和中学校

### 1 はじめに

「地域の子どもは地域みんなの力で育てよう。」という理念のもと、東和地区での地域住民の積極的な学校支援活動を通じて、学校・家庭・地域・行政による協働教育の振興を図ることを目的とした「登米市東和地区学校支援地域本部」が平成20年10月1日に発足しました。現在、東和町域小学校3校、中学校1校を対象とし、学校と地域をつなぐ教育活動の推進に努めています。

東和中中学校では、「学校と地域の協働」を平成21年度の重点と定め、学校公開を積極的に実施しています。社会的自立に必要な基礎力を培うキャリア教育を推進しており、起業学習、職場体験学習、高校見学等様々な学習を通して生徒たちがたくましく未来を切り拓いていく力の育成に努めています。今回のキャリアセミナーも学校公開を兼ねて実施され、学校には保護者や地域の方々も多数お見えになりました。活動の様子は大崎タイムスでも紹介されました。

2 実施日 平成21年7月9日(木)

3 会場 登米市立東和中学校

### 4 取組の概要

今回のキャリアセミナーは、「東和中中学校生が、将来に対する目的意識を持った上で進路選択をしてほしい。」という学校側の願いを受けて、「登米市東和地区学校支援地域本部」とNPO団体ハーベスト(※1)が連携してコーディネートをしました。昨年度に続いて2度目の実施となります。

県内各地から様々な職種の総勢32名の講師の皆さんが東和中中学校に集まり、45分の講座をのべ90講座開催しました。講座の内容は、「仕事に対する想いや人生観」「その職に就くために必要な力と方法」等多岐にわたり、中には実際にものをつくるといった体験学習をする講座もありました。

生徒たちは、それぞれの学年ごとに少人数のグループをつくり、興味や関心のある講座を3つ選んで受講しました。セミナーが始まる前には、体育館でグループごとに質問事項や学習内容について話し合い、目的意識を持って学習にのぞみました。どの講座でも生徒たちは目を輝かせて学習に取り組み、講師の話に真剣に耳を傾けていました。

東和中中学校の吉沢校長はあいさつの中で、「本校の実態として進路情報が少なく、自分の将来について考えることがどうしても少ない。中学生という多感なこの時期に、ぜひ、様々な職業について一生懸命がんばっている大人の様子を目の当たりにすることで、今後の学校生活や将来につなげていってほしい。職業についての説明だけでなく、生き方や人生観についても語ってほしい」と話しておられました。

(※1) NPO 団体ハーベスト

ハーベストは「キャリア教育を通じた大人と若者の学び合い」をコンセプトに、地域の学校・市民・起業・行政など誰もが学び合える市民参加の教育の場とネットワークを構築することによって、将来を担う人づくりに取り組んでいます。今回の東和中キャリアセミナーでは、21名の講師の方を派遣してくださいました。

### 5 東和中中学校を訪問して

全校生徒が目や目を輝かせて学習にのぞんでいる姿がとても印象的でした。外部の講師の方を生徒たちは温かく迎え入れ、そして、積極的に学ぼうとする意欲にあふれていました。通常の授業の様子とはまた違った生徒の姿がそこにあったような気がします。学校と「登米市東和地区学校支援地域本部」及びNPO団体ハーベストが協働することで、学習のねらいを明確にした質の高い学習を可能にしたのではないかと思います。

## 【取組の様子】



キャリアセミナーのねらいについて語る東和  
中学校の吉沢校長。



事前学習として、質問事項などについてグル  
ープで話し合いました。



総勢32名の様々な職種の講師の皆さんが集  
まりました。



「東和地区学校支援地域本部」の実行委員会の  
皆さんも学習の様子を参観しました。



講師の先生は、生徒にいろいろな話をしてく  
れました。



大事なことはメモしながら、真剣に学習に取り組  
む生徒。



実際に仕事で用いるパンフレットを使って、仕  
事の内容を説明してくれました。



生徒たちはプロの技術の高さに感心しました。